

承認番号	2019-072
研究課題名	原発性副甲状腺機能亢進症患者における診断時の特徴と治療効果の比較検討
研究の意義・目的	原発性副甲状腺機能亢進症は、2型糖尿病と自己免疫性甲状腺疾患に次いで頻度の高い内分泌代謝疾患であり、医学の進歩に伴い、多くの患者は無症状で診断されます。無症候性原発性副甲状腺機能亢進症においても治療の第一選択は手術であり、年齢、血清カルシウム濃度、骨密度、腎機能といった要因を勘案して手術適応が決定されますが、原発性骨粗鬆症や慢性腎臓病を有することの多い高齢で初めて診断される機会が増大しており、その手術適応については、手術が内科的治療に優れるかを検証する必要があります。また、手術適応を満たしても腫大副甲状腺の部位が画像診断で明確に同定できない場合や手術を望まれない場合も含め、内科的骨治療の必要性が高まっており、新規骨粗鬆症治療薬の治療効果を比較検討することは、非常に重要な研究と考えます。
研究を行う期間	2020年2月10日 ～ 2022年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	2014年3月1日～2019年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院の内分泌・骨・リウマチ内科で、原発性副甲状腺機能亢進症と診断された入院もしくは通院患者さまが対象です。
お願いする内容	<p>□大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。</p> <p>検査データ、診療記録を研究に使わせてください。</p>
頂いた試料・情報の提供方法	該当なし
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学 職名：准教授 氏名：今西 康雄
この研究を行っている施設（共同研究機関）	該当なし
代表施設のURL	該当なし
研究の成果を公表する方法	内分泌・骨粗鬆症関連学会、専門誌などで研究成果を公表する予定です。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	電話：06-6645-3806 担当者：今西 康雄